

東亜ドラム油業株式会社 清水事業所

1 会社概要

- 所在地：静岡市清水区袖師町1900番地
- 従業員数：68名(男性60名、女性8名)
- 事業概要：製造業

2 取組んだ事項

(1) 労働時間短縮の取組

- 年間総労働時間1800時間以下に向けて請負先の協力を得て、労使一体となり効率化・生産性向上に取組み、就業時間帯の変更を実施(08:15~17:00⇒08:30~16:50、7.75時間/日⇒7.33時間/日に変更)、職域の拡大を図り相互応援体制を確立した。これらにより年間総労働時間を1913時間から1793時間に削減できた。

(2) 時間外労働削減に向けて

- 職域の拡大を図り相互応援できる環境作りを行い時間外の短縮に努めた。○朝のミーティング時に各自にその日の作業及び残業の発生について述べてもらい情報の共有化を図った。これらの結果1人当たり平均25時間超を平均20時間以下まで削減でき、病欠の対応や有給休暇が取得しやすくなった。

(3) 年次有給休暇の完全取得に向けて

- 安全衛生委員会、労使会議、労使懇談会等の場を通じPRを図り、また、ビラを作成しキャンペーンを実施。○従業員は予定表に休暇取得日を記載し、管理者は毎月のリストで休暇取得実績を把握し個別管理及び個別指導。○業務に余裕が生じたときは半日単位で休暇取得を指導。こうした取組みにより本年は年次有給休暇の取得率99%を達成した。

(4) 新人事制度の活用

- 「人材育成」を理念とし、各人が能力を最大限に発揮し、それを公正な評価と公平な処遇を通じて働きがいと生産性の向上に結びつけることを目的とした人事制度が5年前に発足。この制度を構築していくために、管理職・社員の意識改革が必要不可欠であり、特に管理職については人事管理・労務管理の重要性等について2回/年の研修を行い教育・訓練を実施した。また、同様に労働組合執行部にも一緒に教育・訓練を実施した。これらにより、年間総労働時間の短縮や年次有給休暇の完全取得に向けての取組みがスムーズにできた。

(5) 自発的な職業能力開発を図る

- 余暇の時間を活用し、資格取得報奨金制度(資格休暇も含む)の活用や通信教育による研修を実施。

3 取組結果等

(1) 取組による具体的な効果

- 年間総労働時間の短縮、有給休暇取得率の向上、時間外労働の削減等により、①家族と接する時間が多く設けられるなど私生活の充実や余暇の活用、②ストレスの解消、ケアにも繋がることができメンタルヘルスにも役立った、③健康維持や能力開発(カルチャースクール、資格の習得等)を進める環境が出来やすくなった、④資格取得支援制度の活用と相まって資格の習得が増加し企業価値が高まった、⑤ワークライフの中でメリハリができ作業効率及び生産性の向上にも繋がった。

(2) 困難だったこと

- 労使が互いに協力・連携して業務を行うため、従来の慣習、職場風土等の中で意識改革を図るには時間がかかった。更にワークライフバランスと仕事の効率化・質の向上を同時に実践していかなければならないことを、理解・納得ができるまで面接、職場懇談会等通じて何回も説明を行ったが、すぐに理解させることは難しかった。

(3) 今後の取組

- 定期的に労使懇談会等を開催し、労使で自社独自の施策を立案し、実施していきたい。

